## シミュレーションモデル適用事例シート

	レーションモ								
		交通施策評価	小分類			シミュレーシ		SOUND-express	
	適用事例名	交通シミュレーショ	ンモデルを用いた	オンライン予測情報の	D首都高	3 号線での提供			
概要	目的·概要	観測された交通状況に基づいて,交通シミュレーションを用いて 1 時間程度先までの交通状況を予測する.この結果を情報としてドライバーに提供すれば,より高精度の情報提供が可能になると考えられる.本研究では,オンラインでの情報提供ということを前提とし,現在提供されている情報等とその情報の精度を比較することで,システム導入の可能性を検討するものである.							
	本事例における モデル適用上の 特徴								
	対象範囲	首都高速道路 3 号		7		対象時間帯	平日午前6時-9	 時	
		平成5年度		•		V1 3V = 1 [11]	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	F1)	
	対象道路網	TRAS 年度							
		ノード数	24	リンク数	23	起終点ノード数	5+4	総トリップ数	約 8000 台
		一般街路ネットワー	ーク	交差点数		信号交差点 数		道路区間数	
		自専道ネットワーク	7	分岐部数	3	出入口数	9	道路区間数	15
	特記事項								
					•	<b>**</b>	•		
		用賀	•		₹ E	<b>★</b> ○ ·茶屋		≥ km ≥	
		単路部	リンク長, QK 関係	*	三軒	·茶屋		2 km	
	道路 データ	単路部 交差点部		<b>₹</b>	三軒	·茶屋		2 km	
	道路 データ	単路部 交差点部 合流部	リンク長, QK 関係 合流比	<u>*</u>	三軒	·茶屋		2 km	
	道路 データ	単路部 交差点部 合流部 設定パラメータ		*	三軒	·茶屋		2 km	
	道路 データ	単路部 交差点部 合流部 設定パラメータ 作成方法	合流比	ξ.	三軒	·茶屋		2 km	
入力	道路 データ 信号 制御	単路部 交差点部 合流部 設定パラメータ 作成方法 設定単位	合流比 発生交通量		三軒	·茶屋		2 km	
入力 データ	道路 データ  信号 制御	単路部 交差点部 合流部 設定パラメータ 作成方法 設定単位 作成方法	合流比 合流比 発生交通量 感知器データより		三軒	·茶屋		2 km	
入力 データ	道路 データ 信号 制御 交通需要	単路部 交差点部 合流部 設定パラメータ 作成方法 設定単位 作成方法 空間単位	合流比 発生交通量 感知器データより オンランプ	J作成	三軒	·茶屋		2 km	
入力 データ	道路 データ 信号 制御 交通需要	単路部 交差点部 合流ポパラメータ 作成方法 設定成方法 で成方法 空間単位 時間単位	合流比 発生交通量 感知器データより オンランプ 5 分単位, 6-10 B	J作成	三軒	·茶屋		2 km	
入力 データ	道路 データ 信号 制御 交通需要	単路部 交差点部 合流部 設定パラメータ 作成方法 設定単位 作成方法 空間単位	合流比 発生交通量 感知器データより オンランプ	J作成	三軒	·茶屋		2 km	
入力 データ	道路 データ 信号 制御 交通需要 その他	単路部 交差点部 合流ポパラメータ 作成方法 設定成方法 で成方法 空間単位 時間単位	会流比 発生交通量 感知器データより オンランプ 5 分単位, 6-10 B 1 車種	J作成 特	之 三 軒	·茶屋		2 km	
入力 データ	道路 データ 信号 制御 交通需要 その他 スキャン方式	単路部 交差点部 合流ポパラメータ 作成方法 設定成方法 で成方法 空間単位 時間単位	合流比 発生交通量 感知器データより オンランプ 5 分単位, 6-10 B 1 車種 periodic scan 方:	J作成	三軒	· 茶屋		2 km	
入デ モル定 カータ デ設項	道路 データ 信号 制御 交通需要 その他	単路部 交差点部 合流ポパラメータ 作成方法 設定成方法 で成方法 空間単位 時間単位	会流比  発生交通量  感知器データより オンランプ  5 分単位, 6-10 B  1 車種  periodic scan 方: 1 台/パケット	J作成 特	<b></b> 三軒	·茶屋		2 km	
入デ エル定目 カータ デ設項	道路 データ 信号 制御  交通需要  その他 スキャン方式 パケットサイズ	単路部 交差点部 合流ポパラメータ 作成方法 設定成方法 で成方法 空間単位 時間単位	会流比  発生交通量  感知器データより オンランプ  5 分単位, 6-10 B  1 車種  periodic scan 方: 1 台/パケット	J作成 時 式,1 秒/1スキャン	<b></b> 三軒	· 茶屋		2 km	
入デー モル定目 デ設項ー	道路 データ 信号 制御 交通需要 その他 スキャン方式 パケットサイズ 経路選択原理 特記事項	単路部 交差部 合設成が が 一タ 作設成が が で が で が が が が が が が が が が が が が が が	合流比  発生交通量  感知器データより オンランプ  5 分単位, 6-10 B  1 車種  periodic scan 方: 1 台/パケット  観測された分流り	J作成 時 式,1 秒/1スキャン	え 三 軒	·茶屋		2 km	
入デー モル定目 再カータ デ設項 現	道路 データ 信号 制御  交通需要  その他 スキャン方式 パケットサイズ  経路選択原理	単路部 交差流部 合設定がラメータ 作設で成定が 単位 作間間単位 車両属性区分	会流比  発生交通量  感知器データより オンランプ  5 分単位, 6-10 B  1 車種  periodic scan 方: 1 台/パケット	J作成 時 式,1 秒/1スキャン	<b></b> 三軒	· 茶屋		2 km	
入デ モル定目 再性カータ デ設項 現検	道路 データ 信号 制御  交通需要  その他 スキャン方式 パケットサイズ 経路選択  特記事項 キャリブレーション	単路部 交差部 合設成が が 一タ 作設成が が で が で が が が が が が が が が が が が が が が	会流比  発生交通量  感知器データより オンランプ  5 分単位, 6-10 B  1 車種  periodic scan 方: 1 台/パケット  観測された分流し なし	J作成 時 式,1 秒/1スキャン 北率を用いて分岐				2 km	
入デ モル定目 再性証カー デ設項 現検	道路 データ 信号 制御 交通需要 その他 スキャン方式 パケットサイズ 経路選択原理 特記事項	単発 交合 設 作 設 作 設 作 設 作 設 作 設 作 で 方 法 で で で で で で で で で で で で で で で で で	会流比  発生交通量  感知器データより オンランプ  5 分単位, 6-10 B  1 車種  periodic scan 方: 1 台/パケット  観測された分流し なし	J作成 時 式,1 秒/1スキャン				2 km	
入デ モル定目 再性証 出デカー デ設項 現検 カータ	道路 データ 信号 制御 交 (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	単発を表現である。 単数を表示では、一名を表現では、一名を表現では、一名を表現では、一名を表現である。  「おいっと」  「おいっと」 「おいっと」 「おいっと」 「おいっと」 「おいっと」 「おいっと」	会流比  発生交通量  感知器データより オンランプ 5 分単位, 6-10 B 1 車種  periodic scan 方: 1 台/パケット 観測された分流量 なし 対象区間の旅行 AVI データ	J作成 時 式,1 秒/1スキャン 北率を用いて分岐				2 km	
入デ モル定目 再性証 出デカー デ設項 現検 カータ	道路 データ 信号 制御 交通需要 そのキャット 選 事ブレカカ (目) 接証 事び (目) 機関・である 部署 (目) をする おきずる おきがら (目) をする 部署 (目) をする おきがら (目) をする (目) を	単交合設作設 作 空時車 アプス 大方 表	会 会流比  発生交通量  感知器データより オンランプ  5 分単位, 6-10 B  1 車種  periodic scan 方: 1 台/パケット  観測された分流は なし 対象区間の旅行  AVI データ  ない  ない  ない  ない  ない  ない  ない  ない  ない  な	J作成 時 式,1 秒/1スキャン 北率を用いて分岐				2 km	